



八重高だより

No12 2025 年10月3日 校長 大城まち子

校 訓

学徳・進取・雄飛

2 学期 、 八重高生、絶好調です！

9 月 1 日に始まった 2 学期、あっという間に 9 月が終わってしまいました！

9 月 13 日、14 日に行われた「第 9 回舞台祭」、開会式の挨拶でも述べましたが、体育祭が第 26 回、文化祭が 22 回、そして舞台祭が第 9 回？ 何故。実は 2001 年以前は、教育課程の中に、必修のクラブというものが、「クラブ祭」というものが開催されておりました。その為、舞台祭は比較的新しい行事となっております。

「見る方も、演じる方も主役です」の実行委員長（西里 翼さん）の挨拶を皮切りに、生徒が観覧の 13 日、保護者及び一般に公開された 14 日、両日とも市民会館を借用して行われました。クラスによっては、日替わりのダブルキャストを立てるクラスも。クラス毎の演目を、夏休み前から企画し、シナリオ、衣装、大道具等、各クラスの舞台監督や実行委員のもと制作し、見応えのある舞台祭となりました。私も他校で多くのクラスで作る舞台を見てきましたが、八重高生は練習から下を向いている生徒がいない！ 当たり前のようですが、なかなかない事です。「詩の邦、唄の島、踊りの郷」と言われている八重山で育った生徒達、舞台に立つことに慣れているのでしょうか。さすがとしか、言いようがありません。どのクラスも工夫が凝らされた、素晴らしい舞台でしたが、生徒・職員の審査委員で最優秀賞、優良賞、そして審査員特別賞が選出されました。最優秀賞に 3 年 1 組、優良賞に 3 年 4 組、3 年 5 組、そして審査員特別賞に 2 年 1 組に賞が贈られました。開会式、閉会式では山崎朋子さん作詞・作曲の「大切なもの」の全校生徒による三部合唱が行われ、ハーモニーも美しく大変感動的に修了しました。この舞台祭の感動を、八重高生の今後の生きる力にして欲しい、私達職員も、教師としてこの感動を心の糧としていきたい、そう思いました。

裏方を務めた生徒も、全員がスポットライトを浴び主役となった舞台祭でした！！

